

～数式と図形のコラボレーション～ 「第1回まちかど大学」のご案内

今回お話しすることは、37歳の時にある定理を証明した時の感動の物語及び演習です。額賀博氏が、格子多角形の面積を求める数式を発見した時(1990)の喜びは言葉に表せないものだったでしょう。それが本当に正しいと証明できたときは、私が生きてきた中で一番の喜びであります。それは長い間の思索の後にアッという間に訪れました(1991)。そして、数学が益々好きになり今日を迎えています。このことをお伝えできたらと願っています。

— 記 —

1. 日時 9月18日(水) 午前10:00～11:30

2. 場所 長寿荘 二階

3. 講師 なかや きよしげ
中谷 清茂

4. 演題 数式と図形の
コラボレーション

—考えることの楽しさを
みんなで実感し合おう!—

- 主な内容
- ①格子多角形の求積法(導入)
 - ②数学に調和する郷土の自然の美
 - ③主な数学用語
 - ④格子多角形の求積法について
 - ⑤格子多角形の求積法の発展



※若干ではありますが、質疑応答の時間をとります。

5. 持ち物 筆記用具(多色) 定規



◎下記の文(命題)は正しいだろうか?
四角形ABCDで $AB=CD$ 、 $\angle B=\angle D$
ならば四角形ABCDは平行四辺形である。

